

方式	受入団体	環境に配慮した取組
併用型 (センター・ホームステイ)	八坂美麻学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通した手作業での農作業体験により、「生きるために食べる」という食育の視点を養う</li> <li>・食事の際は正座をし、食事作法を身に付けながら「感謝して残さず食べる」食育体験の実践をしている</li> <li>・長距離の通学路など、できるだけ自分の足で歩くことを心掛けている</li> <li>・地域住民と協働し荒廃地の棚田を復活させ、稲作を実践。環境、景観保全の目的のほか、山村留学後のOBOGや保護者が農を通じて長期的な交流を持続する場を創出している</li> <li>・林業体験から炭焼きまで体験することで、自然を利用したエネルギーや知恵を知る</li> <li>・年間を通し四季の移ろいを肌で感じながら暮らすことで、環境教育の根幹を養う</li> </ul>
	売木村山村留学センター 売木学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜やお米を子供たち自身で生産し、可能な限り地産地消を目指している。（お米は100%売木村産を食べています。）</li> <li>・県内産の地大豆を用いて毎年味噌を仕込んでいる。（100%自給可能）</li> <li>・小学4~6年生はみどりの少年団に参加し、花を育てたり、植樹活動を行っている。</li> </ul>
	北相木村山村留学センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが食べる食材はできるだけ地元食材を使用している</li> <li>・調理で使用した油や食器の汚れ等を再生紙でふき取り、洗剤量の削減・排水を削減</li> <li>・全館LED照明設置済み・電気や電子機器の使用を控える（冷房器具を使用していない）</li> <li>・保護犬の飼育をしている（現在4匹を飼育中）</li> <li>・キャンプワークの際、大きな火を焚かない（野生動物への配慮）</li> <li>・村内のゴミ拾い活動を実施している</li> </ul>
	大岡ひじり学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米、味噌、小麦、野菜等は低農薬で子どもたち自身が生産し、食育活動にも広げている</li> <li>・移動は車に乗らず徒歩を基本としている</li> <li>・暖房は薪ストーブで薪割りも子どもたちが行っている</li> <li>・食器の洗浄などなるべく洗剤を使わず、河川環境の維持を意識付けさせている</li> <li>・環境教育にも力を入れている</li> </ul>
センター型	暮らしの学校いだらぼっち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薪ストーブ、五右衛門風呂、陶芸を焼く登り窯、とすべて薪を燃料としている。これらの薪の調達、薪割も子どもたちが行う</li> <li>・薪ストーブで出た灰は陶芸の釉薬にする</li> <li>・調理の際に出る野菜くずなどは鶏のエサにし、鶏のフンは小屋に敷いているワラと共に畑の肥料にしている</li> <li>・米作りで最後に残るワラは、「燃やして陶芸の釉薬にする」「鶏小屋の寝藁」「畑の霜、雑草対策」「田んぼの肥料」「正月飾り」などに活用する</li> <li>・生ごみは畑に作った堆肥場でたい肥にする</li> <li>・飼育している鶏に卵を育てたり、有精卵から雛を孵すといった循環も行う</li> <li>・地域の農家の方から米や野菜を売っていただいたり、作りすぎたものをいただくなどしている</li> <li>・エアコンは設置されていない</li> </ul>
	浪合通年合宿センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマスエネルギーの活用・・・1年を通して、施設周辺の森の木々を伐採し、薪づくりをします。冬の暖房は薪ストーブを活用します。灰は畑などで活用します。再生可能エネルギー、里山の重要性を学びます。</li> <li>・菜園運営、ヤギ飼育・・・自然に働きかけて作物をつくる等の体験を通し、自然と人間のかかわりを体感します。</li> </ul>
寮型	どんぐり向方学園	<p>自分たちで出来るSDGsへの取り組みを生徒会中心で行っています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境を守る」ごみの分別、リサイクル、地域の清掃活動</li> <li>・「食料問題」残食を減らす声かけ運動、ポスター</li> <li>・「エネルギーを大切に」電気の無駄遣いを減らす実践活動、ポスター</li> </ul>
ホームステイ型	フリーキッズ・ヴィレッジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馬とともに暮らす生活を通じて、馬耕・馬搬（森での木の搬出）に取り組んでいる。</li> <li>・暖房、お風呂、炊飯は、薪を使用している。</li> <li>・自家栽培のお米、お野菜を頂き、お菓子なども手作りを心がけている。</li> <li>・合成洗剤は使用せず、環境に配慮した生活を営んでいる。</li> <li>・自然環境、いのち、未来について考え、話し合う機会がある。</li> </ul>

方式	受入団体	環境に配慮した取組
親子留学型	北相木村親子留学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の中で、切電の呼びかけを行っている</li> <li>・クラス内に「電気係」を配置し、移動の際には忘れずに電気を切る取り組みをしている</li> <li>・PTAの中で、リサイクルバザーを実施している</li> <li>・コロナ渦以前は、ペットボトルキャップ回収を実施していた</li> </ul>
	和合親子山村留学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の総合の時間では野菜や米作りを通して土に触れ自分たちの食べるものがどうやってつくられるか体験しながら環境について考える機会を持っています。給食は地元産のものを中心に作られ、学校の田畑で収穫した野菜やお米が登場する機会もあり、地産地消が実践されています。地域の豊富な森林資源をもとに薪ストーブや風呂の燃料に利用する住民も多くいます。</li> </ul>
	浪合親子留学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住み慣れた都会から自然が豊富な地域に来て、農林業を営む方々との交流を通し、自然と交信することで得られる様々な恵みを得ることを通して、環境に配慮した生活の大切さ、人が自然に適切に働きかけることの意義を学ぶきっかけとなっています。</li> </ul>
	根羽村立義務教育学校根羽学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川清掃</li> <li>・椎茸植菌、林業体験など木育事業</li> <li>・森林ワークショップなどSDG'sを意識した活動</li> </ul>
	0ooka森の学び舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校では様々な環境教育を取り入れている。給食も地産地消で地元の野菜や米を提供するように心がけている。</li> <li>・小中学校の電気については小規模発電から電気を得て使用している。</li> <li>・緑の少年団活動で緑化活動に力を入れている。</li> </ul>
	南相木村親子留学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の畑で地域の方の協力を借りて農作物を作っている。</li> <li>・リサイクル活動として、児童会でアルミ缶回収を実施している。</li> <li>・校舎の玄関前にバタフライガーデンで多くの花を植樹して蝶を観察することで、自然と共存することの大切さを学んでいる。</li> </ul>
	やまざと親子留学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度から南信濃地区内の公的な建物に太陽光発電システムを設置し、これを運営する事業者より発電から得られる売電収益の一部を「地域貢献寄付金」として南信濃1500委員会に寄付いただくこととなりました。この寄付金を南信濃1500委員会の活動及びやまざと親子留学における支援に充てさせていただくことで環境教育、SDG'sの意識醸成にも役立てています。</li> </ul>
	平谷村親子留学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校横に田んぼと畑が隣接しており、畑では児童が作りたい作物を選ぶところから始まります。作り方を調べたり村の農家さんたちに聞きながらイチから作る体験ができます。</li> </ul>
	天龍村龍の子留学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の天然記念物・絶滅危惧種である村鳥「ブッポウソウ」の保護活動</li> <li>・地域住民を交えた村内道路等の清掃活動「天龍ピカピカ大作戦」の定期的な開催</li> <li>・植林体験</li> </ul>